



メッセージを伝え、聴き手の心を動かそう

①伝えたいことを先に決めてから資料を作る

テーマ: LHRで"バケツプリン"に
チャレンジしよう!

- 理由:
- ・プリンが好き、好きな子が多い。
 - ・みんなで食べるとおいしい。
 - ・一生に一度は"バケツプリン"を作ってたべてみたい。
 - ・1人では食べきれないから、下塾でチャレンジしたい。
 - ・クラス規模がちょうどいいと考えた。

仮説: バケツプリン は クラスの LHR で
できる? できない?
↓
情報収集: 作り方, 材料, など.
↓ シミュレーション (計画を立てる)
検証: できれば 実際に作ってみる。
↓
伝えたいこと: LHR で 実現可能!!
楽しいので みんなで
やろうよ!!

②メッセージには ①主張 と、根拠になる ②理由 ③事実 を必ず入れる

伝えたいこと (主張): 私は、クラスの LHR で "バケツプリン" を作って
食べる事を提案します。

根拠 (理由・事実): 私は プリン が好きです。クラスにもプリン好きの子が
たくさんいます。そこで、クラス全員で プリン を一緒に食べたら
楽しくて美味しい思い出が できると考えました。

"バケツプリン" は 元々 張れば 作れます。

根拠を裏付けるために必要な情報: 事前に "プリン は好きか?" アンケートをとる。

プリンの作り方

必要な 道具

必要な 材料

調理方法

費用

事前準備

作るのにかかる時間

LHR の みんなの 動き

計画を立てて気付いた点
×リット テ×リット
↓ ↓
具体的に出す 対策を考える。

③伝えたいことを、より伝わりやすくする表現手段を考える

そのためには、聴き手の立場になって考えることが大切

予想 (聴き手の反応は? どんな気持ちになる?):

やてみたい子は、本当に実現できるか不安になるかもしれない。
プリンの好きな子は やりたくない と思う かもしれない。

目標 (聴き手にどう思ってもらいたい? どうしてほしい?):

発表を聴いて楽しかったと思ってほしい。
実際に LHR で "バケツプリン" を作りたいと思ってほしい。
できれば LHR の企画に採用してほしい。
(できる気がする と思ってほしい)



では、何を、どう伝える? 思いついた工夫やアイデアを書き込もう

- ・ "バケツプリン" の 魅力 → 画像・言葉で 楽しさや美味しさを伝える。
- ・ "実現できる" という安心感 → 企画の詳細を具体的に伝える。
説得力を出すために、検証する。アンケートをとる。
- ・ 自分の気持ち → (プリンへの熱い思い。
企画で感じた事・考えた事

レシピ
必要な道具、材料
時間がどれくらい
予算がどれくらい
時期 etc...

伝える順番

- ・ テーマ
- ・ 理由
- ・ メッセージ
- ・ 根拠
- ・ 最後にもう一度メッセージ

伝え方

- ・ 明るく楽しい雰囲気で
- ・ 原稿を棒読みしない
- ・ 大切なところは大きな声で
- ・ 具体的に言う

資料①スライド

- ・ 文字を入れすぎない
- ・ 画像は大きく迫力を出す
- ・ 数値ははっきり示す

資料②原稿

- ・ メッセージに根拠を加えて
説得力を出す